

千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより



第11号 学校支援地域本部版

2018. 3. 16 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会

「地域学校協働活動」では、「地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）」や「地域連携担当教職員」が、学校と地域をつなぐ役割を担っています。今後は、国が示している「学びによるまちづくり」「地域人材育成・郷土学習」「地域行事・ボランティア活動への参加」などの多様な活動を推進するに当たり、学校と地域をつなぐ役割を担うコーディネート機能を充実させていくことが大切となります。そこで、本号では、学校側のパイプ役となる「地域連携担当教職員」の役割や連携方法について紹介します。

1 地域連携担当教職員とは



学校と地域をつなぐキーパーソン



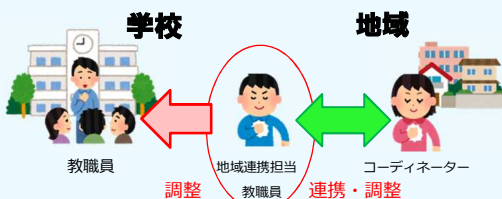
役割

学校で

- ・学校内のニーズの把握と調整、地域からの情報を教職員に伝達する
- ・研修会や広報の機会をつくり、教職員の共通理解を図る

地域に向けて

- ・家庭や地域へ学校の情報を積極的に発信する
- ・コーディネーターと連絡・調整し、連携を深める



教頭先生と連携協力しながら、役割を分担して、学校教育方針のもと、効果的、効率的な体制にすることが大切です。

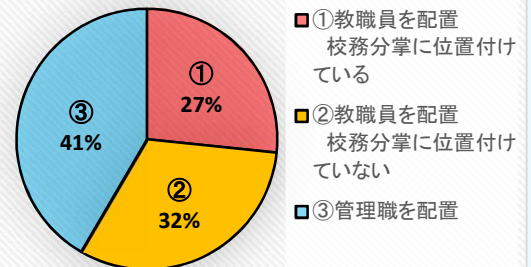
*学校の実情により、教頭先生が兼務する場合があります。

参考：地域学校協働活動の推進に向けたガイドライン（文部科学省）
地域学校協働活動推進のための地域コーディネーターと地域連携担当教職員育成研修ハンドブック（国立教育政策研究所社会教育実践研究センター）

千葉県の学校支援地域本部設置市町村における地域連携担当教職員の配置状況

平成29年度 16市町 143本部（政令市・中核市除く）

約60%が管理職以外の教職員を配置



平成29年度「学校・家庭・地域連携協力推進事業」事業計画より

2 学校と地域をつなぐ工夫ある取組



支援ニーズの把握・調整

☆教職員から支援ニーズの聞き取り

- 連絡ポストの活用（市川市）
- アンケートの実施（野田市、我孫子市、松戸市）
- 学年会・分掌会の活用（鎌ヶ谷市）
学年主任や分掌主任が話題提供



連絡ポスト（市川市）

☆コーディネーターや地域住民との情報交換

- 地域ルームの活用（市川市、野田市、我孫子市、八街市）
昇降口や職員室の前などが効果的



地域ルーム（野田市）

*学校によっては、地域連携担当教職員が担任から直接ニーズの聞き取りや授業で役立つ支援の情報を提供しています。

情報提供・活動の周知

☆支援内容やボランティアの紹介

- 掲示板の活用（市川市、我孫子市、野田市）
- 全校集会の活用（我孫子市）
- 学校だより、ホームページの活用（市川市、我孫子市、鎌ヶ谷市、栄町、四街道市）

☆地域連携について情報共有・共通理解

- 推進会議の開催（市川市、野田市、八街市）
定期的に教職員とコーディネーターが話をする機会を作ることが大切



教職員の声

- ・子供たちが安心して登下校できるように、見守りや通学路の安全確認をしていただき助かります。（栄町 小学校）
- ・理科の実験準備、プリントの丸つけなどを支援していただき、子供と向き合う時間が増えました。（我孫子市 小学校）
- ・体験学習や出前授業など、子供たちにとって多様な体験の場が増えました。（野田市 中学校）

地域の特色・魅力ある活動の紹介



今回は、地域の特色・魅力ある活動として、八街市、鎌ケ谷市、栄町の学校支援地域本部の取組を紹介します。

～地域ぐるみで学校をサポート～ 交進みらい塾〔交進小学校支援地域本部〕（八街市）

「交進みらい塾（交進小学校支援地域本部）」では、算数や生活科の学習支援、放課後九九教室、夏休み学校、図書館や花壇の環境整備、学校行事の支援などの活動を行っています。

夏休み学校では、小学4～6年生を対象にして、夏季休業の前半に算数や宿題などの学習をしています。学習中は、毎回10名以上の地域ボランティアが参加して、個々の進度に応じて、丸つけをしたり、分からないところを教えたりしながら子供たちの学習をサポートしています。



プリントの丸つけの様子
どちらも真剣な表情！！

～ボランティアと共につなぐ伝統の味～ 中部小学校支援地域本部（鎌ケ谷市）



ボランティアの上演の様子
みんな真剣に見つめ、できあがるたびに歓声があがります。

「中部小学校支援地域本部」では、家庭科の実習補助、放課後算数教室の学習支援、学校の環境整備、登下校の見守りなどの活動を行っています。

6年生の家庭科では、千葉県伝統的な郷土料理「まつり寿司」を作っています。地域ボランティアの指導のもと、お世話になった先生方へ感謝の気持ちを込めて作っています。まつり寿司づくりは、学校と地域をつなぐ卒業前の伝統行事となっています。

～イベントごとに深まる地域との絆～ 安食小学校ふれあい推進委員会（栄町）

「安食小学校ふれあい推進委員会」では、登校の見守り、環境美化、昔遊び・昆虫採集などの生活科の授業補助、野外活動などを行っています。

野外活動では夏休みにキャンプを行っており、地域ボランティアがバランスの調整が難しい三角テントの組み立て指導に力を入れています。夜には、学校の校舎を使って肝試しを行い、本格的なお化けに震えながら班ごとに手をつないでゴールする姿が毎年見られます。

このような活動を通じて、子供同士の友情や地域の方々との交流がイベントごとに深まっています。



三角テントの組み立て指導の様子
みんな興味津々で見学中！！